

令和7年10月31日発行 さいたま市立さくら草特別支援学校TEL 712-0395発行責任者 渡邊 勝利



小さなことから

校長 渡邊 勝利

秋が深まり、朝晩の冷え込みが増してきました。木々が赤や黄に染まり、自然の美しさと静けさが感じられる時期でもあります。日中は穏やかな陽気の日もあり、いろいろなことに挑戦できる絶好の時期でもあります。秋に努力したことが、冬を越し春になる頃には奇麗に開花するかもしれません。年度当初に掲げた目標を見返したり、新たに何かに挑戦したりするのもいいですね。

学校では、「人事評価制度」があり、教職員は年度当初に目標を立て、達成のための手段を考えます。この目標と手段を意識して教育活動を実施します。人事評価の目的は、評価し点数をつけることではありません。教職員の資質及び能力の向上を図ることであり、学校の教育力を高め、児童及び生徒の成長をねらったものです。年度当初に立てた目標ですが、半年が過ぎると、見直しが必要になってきます。改めて、進捗状況を確認したり、課題を整理したり、修正が必要な場合もあります。学校でも必要に応じて10月に「中間面談」を行い、見直しを行っています。私自身も行いましたが、見通しの甘さや意志の弱さを感じ、反省することも多くあり、気を引き締めているところです。

そんなとき思い出すのが、「積小為大(せきしょういだい)」という言葉です。小さな努力の積み重ねがやがて大きな収穫や発展に結び付くという意味です。この言葉を残したのは、「二宮尊徳(または二宮金次郎)」という人物です。きっと名前だけは聞いたことがある人が多いのではないでしょうか。戦前には道徳の教科書に取り入れられたり、全国の多くの小学校で、薪を背負って歩きながら書物を読む、二宮尊徳の像が立てられたりしました。そして、次のように述べています。「大事を成し遂げようと思う者は、まずは小事を努めるが良い。大事をしようとして小事を怠り、できないできないと嘆きながら、行いやすいことを努めないのは小人の常である。およそ小を積めば大となるものだ。一万石の米は一粒ずつの積んだもの、一万町歩の田は一鍬ずつの積んだもの、万里の道は一歩ずつ重ねたもの、高い山ももっこ一杯ずつ積んだものなのだ。だから小事を努めて怠らなければ、大事は必ず成就する。小事を努めずに怠るものが、どうして大事を成し遂げることができよう。」というものです。小さなことからコツコツと諦めずに根気よく継続していけば、自ずと道は開け、願いが成就できるのではないでしょうか。私自身もう一度初心に戻り、できることから始めていきたいと思いました。皆さんも目標を立て、小さな一歩から始めてみてはいかがでしょうか。

さて、II月4日から文化祭が始まります。今年の文化祭のテーマは「ニコニコ キラキラと 笑顔で楽しむ」です。小学部低学年は、児童一人ひとりが得意なことを活かし雲を追い払い、きれいな虹をかけます。みんなの力を合わせて、頑張る姿をぜひご覧ください。 小学部高学年は、リサイクル楽器を使った演奏会です。どんな楽器になるのか楽しみです。中学部は「音楽」をテーマにした発表会です。3つのグループから始まり、最後はIつになってみんなで盛り上がります。高等部は、自分たちで作成した様々な商品を販売します。人気商品も多数揃えてあり、売り切れ必至です。PTAはお菓子やパン、ドリンク販売で、癒しの空間を提供してくれます。文化祭を迎えるにあたり、発表の練習をしたり、作品や掲示物を作ったり、歌を歌ったり、協力して頑張ってきました。テーマにあるように、笑顔いっぱいで、キラキラと輝く姿が見られるのを楽しみにしています。全力で楽しみ、最高の思い出をつくりましょう。

令和7年度 | |・|2月の予定

11月

日曜日

2 B

3

5

6 木

7

8 土

9 日

1.1

12 水

13 木

14

15 土

16 日

17

18 火

20 木

21

22

23

24

25 火

26 水

27

28 金

29 土

30 日

金

月

水

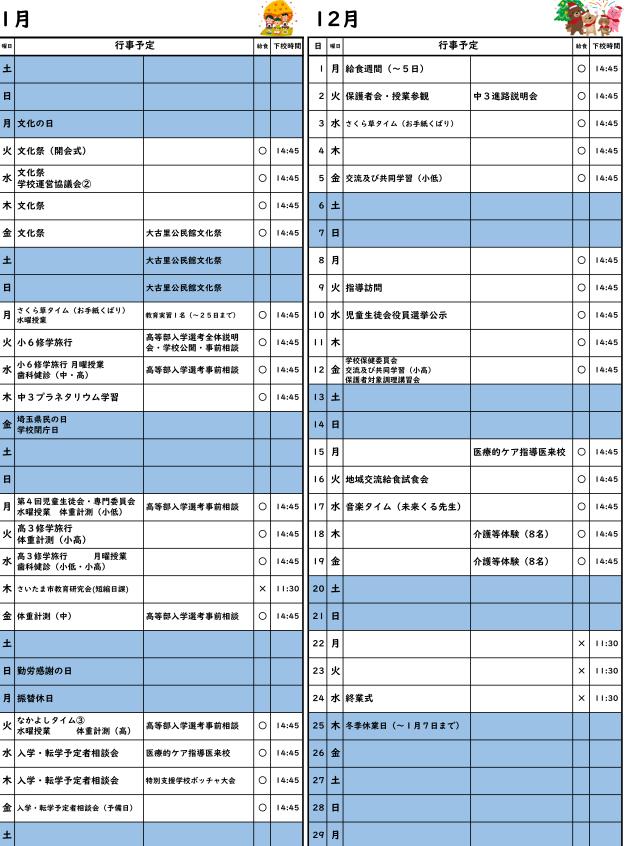
10 月

土

月

水





※ | 0月安全点検:異常箇所はありませんでした。

お知らせ

30 火

31 水

- 〇現在も赤い羽根募金運動を実施しております。 文化祭においても、募金箱を設置しますので、ご協力の程、お願 いいたします。
- ○2月4日(水)のお手紙配りは、2月3日(火)に変更になりま した。よろしくお願いいたします。